

京王線沿線まちづくり通信

発行：2009年11月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

① 京王線沿線駅前広場基本構想

- ・上位計画による沿線地域の位置づけ
- ・沿線各駅の駅前広場基本構想

② 京王線沿線まちづくりQ & A

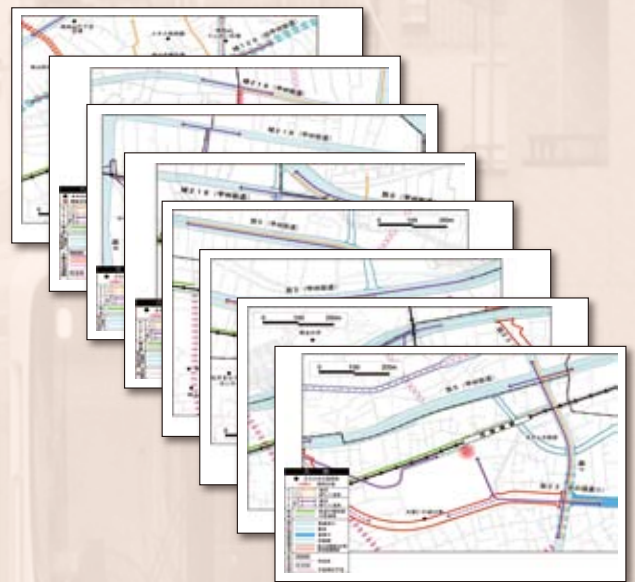
③ 京王線沿線駅前広場基本構想の閲覧



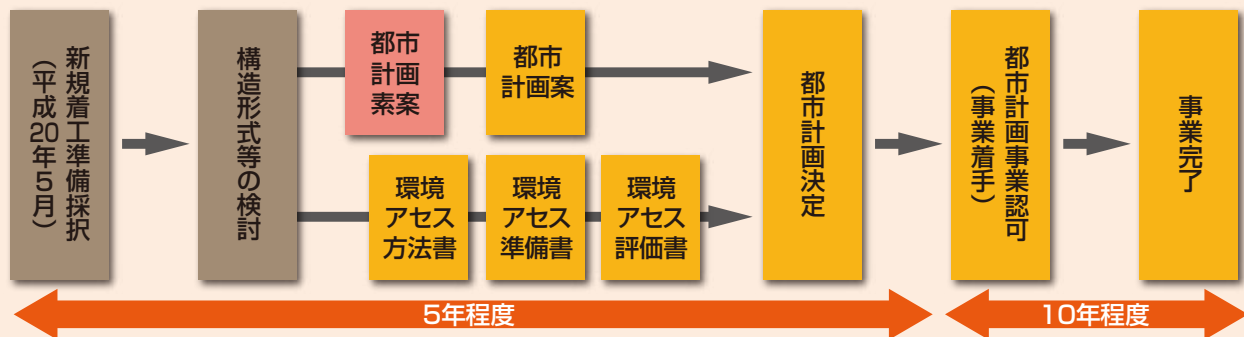
平成20年5月、代田橋駅から八幡山駅付近の区間が京王線の連続立体交差事業の新規着工準備箇所として国の採択を受けました。区は、連続立体交差化に伴う沿線の街づくりについて検討を進めてまいりました。

平成21年5月には、各駅周辺街づくり協議会等が進める街づくりの検討状況等を踏まえ、「京王線沿線街づくり基本方針」を策定し、区民とともに連続立体交差化に伴う沿線街づくりを推進しています。

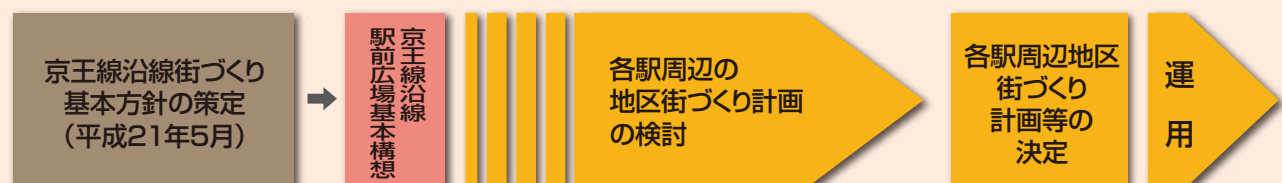
京王線各駅の駅前広場については、連続立体交差事業と合わせ総合的に計画していくため、都市高速鉄道や関連する都市計画と一体的な検討が必要になります。この度、区では「京王線沿線街づくり基本方針」に基づき、「京王線沿線駅前広場基本構想」を取りまとめましたのでお知らせします。



● 連続立体交差事業の概ねの流れ(東京都)



● 地区街づくりの概ねの流れ(世田谷区)



①京王線沿線駅前広場基本構想 上位計画による沿線地域の位置づけ

● 世田谷区都市整備方針（平成17年4月）

区の将来都市像や各地域に共通する都市づくりの基本方向を示す、都市計画のマスタープランとして位置づけられています。

〈都市づくり・街づくりの基本的な指針〉

区を5つの「地域」に区分し、都市づくりの骨格プランが示されています。京王線沿線は、世田谷北部の北沢地域、烏山地域に位置しており、北側は杉並区に接しています。

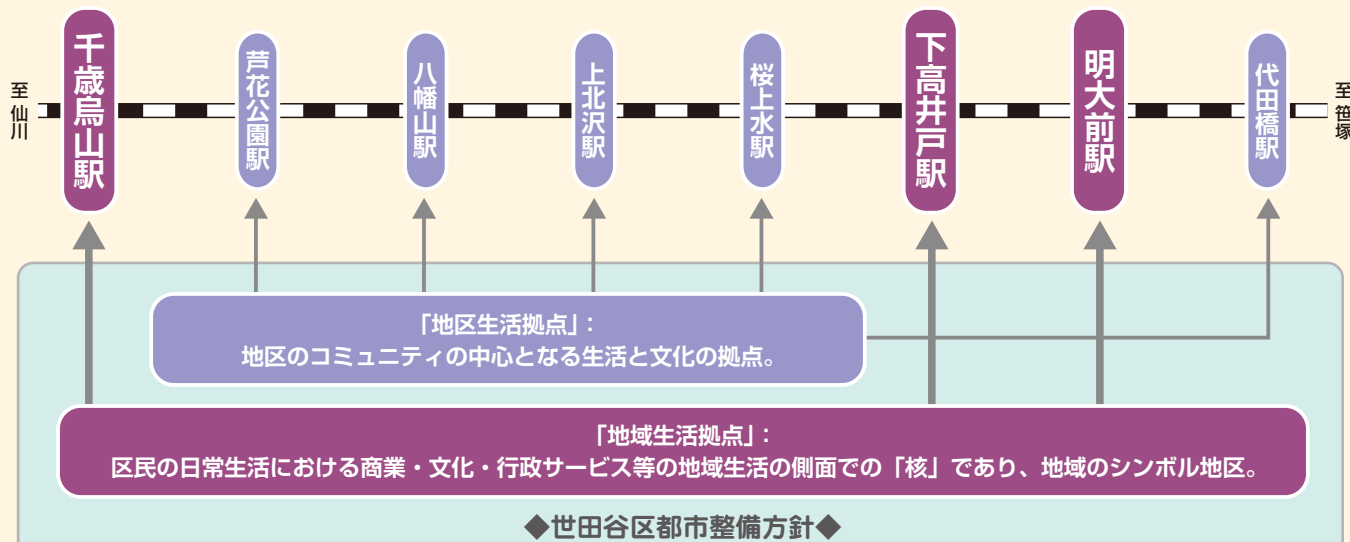
〈沿線各駅の位置付け〉

世田谷区都市整備方針では、区全体及び地域の街づくりの目標に基づいて、京王線沿線の各駅を次のように位置づけています。



【参考】◆杉並区まちづくり基本方針◆

「身近な生活拠点」（私鉄の各駅周辺）：周辺住民が日常的に楽しむことができる生活拠点。



● 公共交通系交通広場

バスやタクシー等の公共交通を中心とした交通広場
(明大前、下高井戸、桜上水、八幡山、千歳烏山駅周辺)



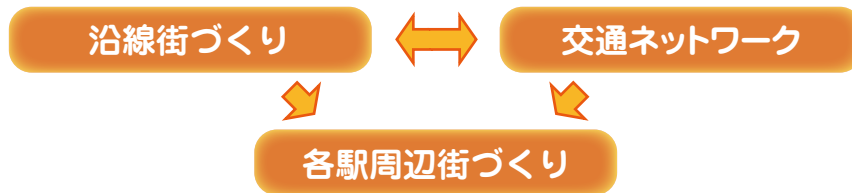
● 徒歩・自転車系交通広場

自転車や歩行者を中心とした交通広場
(代田橋、上北沢、芦花公園駅周辺)



● 京王線沿線街づくり基本方針（平成21年5月）

沿線街づくりを沿線の皆さんと区が一体となって進めるため、「沿線街づくり」・「交通ネットワーク」・「各駅周辺街づくり」等の考え方をまとめ、沿線の街の将来像を示しています。



〈交通ネットワーク形成の目標〉

公共交通と歩行者・自転車を中心とした交通体系の実現を目標に定め、その目標の実現に向けて3つの考え方を定めています。

【交通ネットワーク形成の目標】公共交通と歩行者・自転車を中心とした交通体系の実現

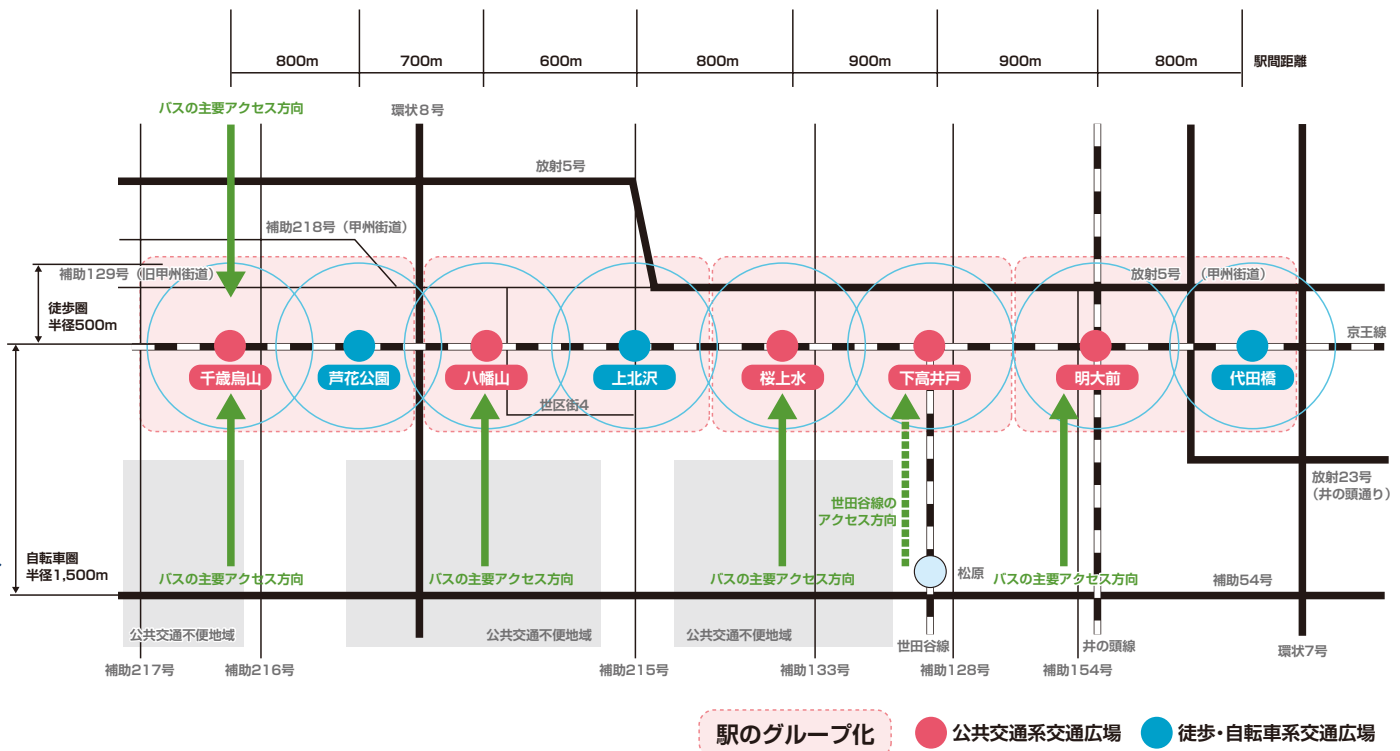
沿線地域全体の交通ネットワークの考え方
【南北軸・東西軸の形成】

駅別機能分担の考え方
【交通結節機能の強化】

生活交通のネットワークの考え方
【公共交通不便地域の解消、安全で快適な歩行空間等の形成】

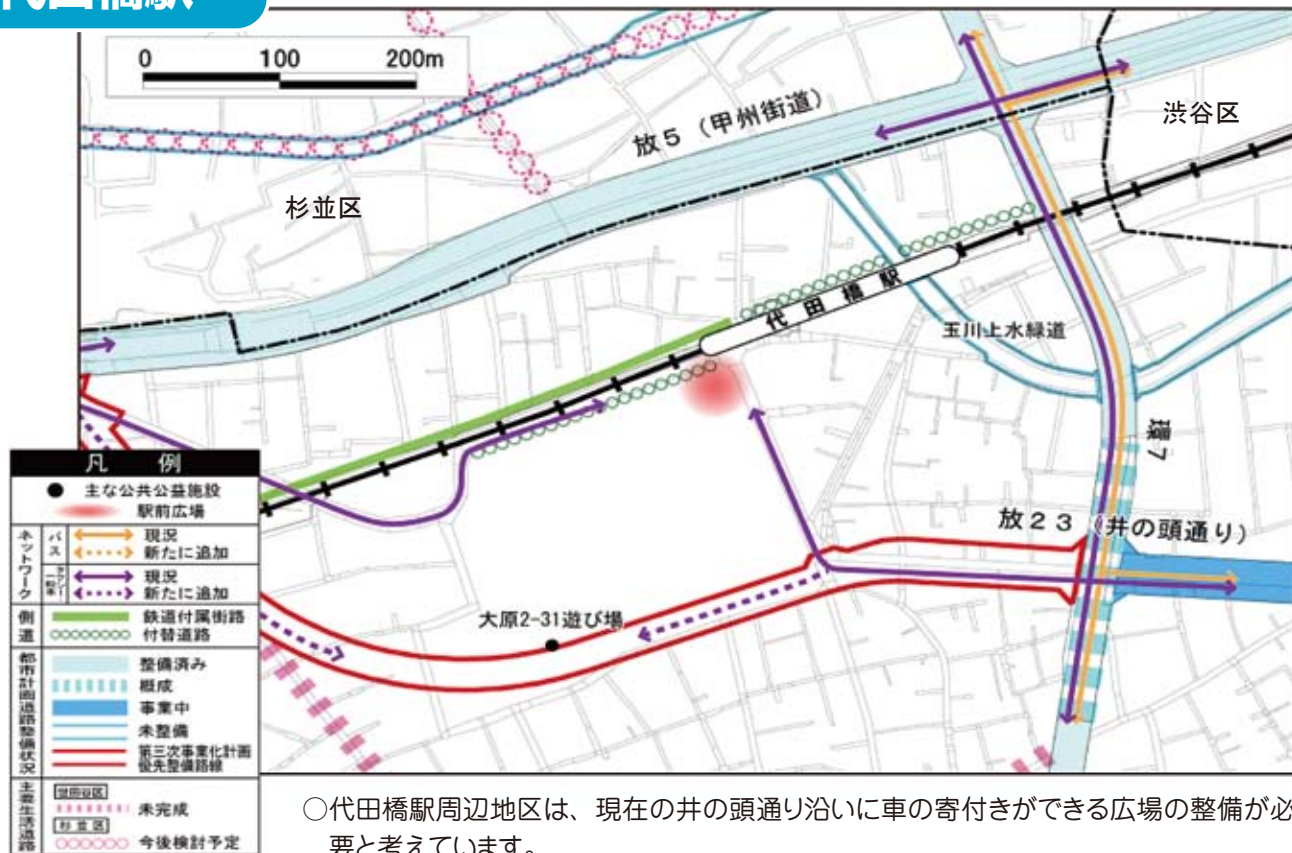
〈駅別機能分担の考え方〉

京王線沿線地域は駅間が1km未満と短いため、駅前広場等、交通施設の整備に当たっては、駅の利用圏域を考慮して駅をグループ化し、グループ内の駅相互で交通結節機能の分担を行い、各駅の特성에応じた機能分担を行うとともに、駅間における人と自転車のネットワーク化を図ります。

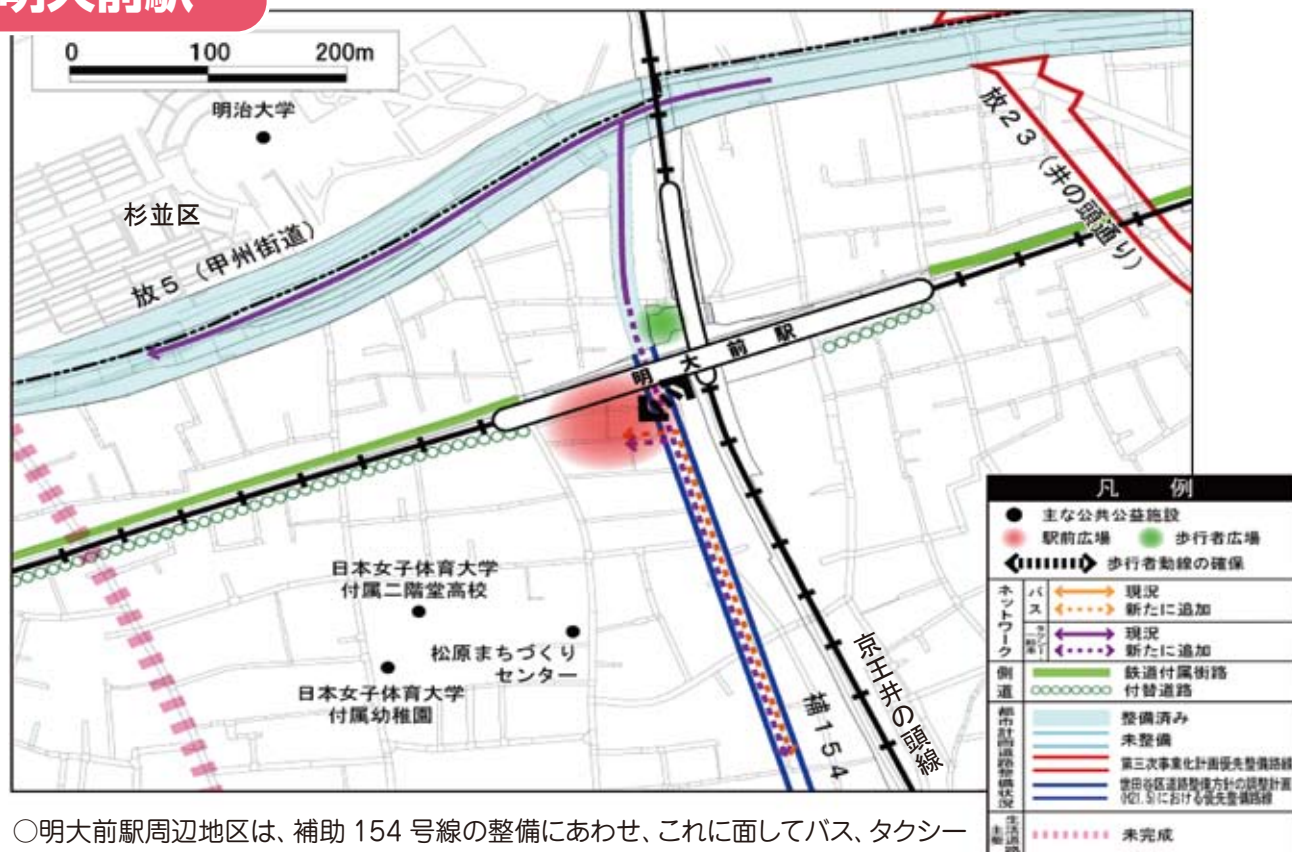


沿線各駅の駅前広場基本構想

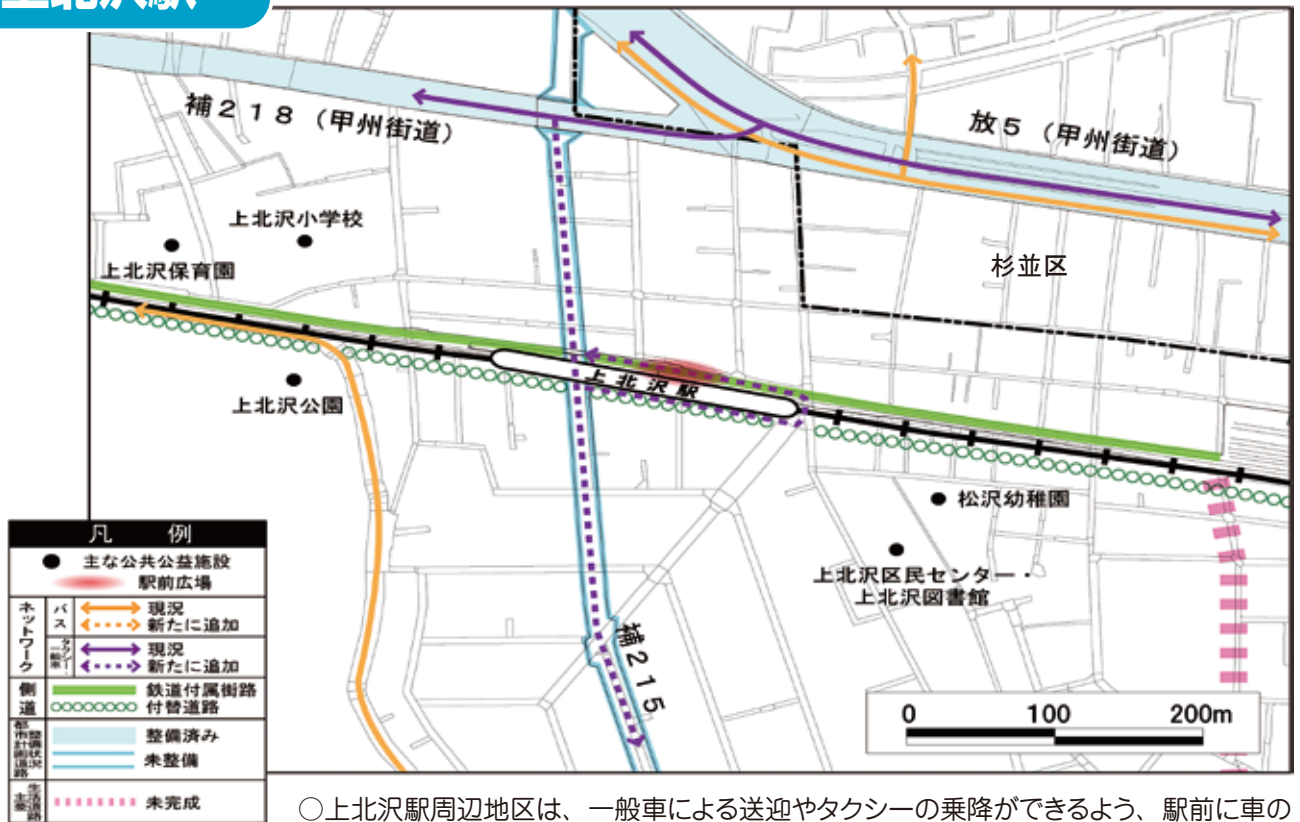
代田橋駅



明大前駅

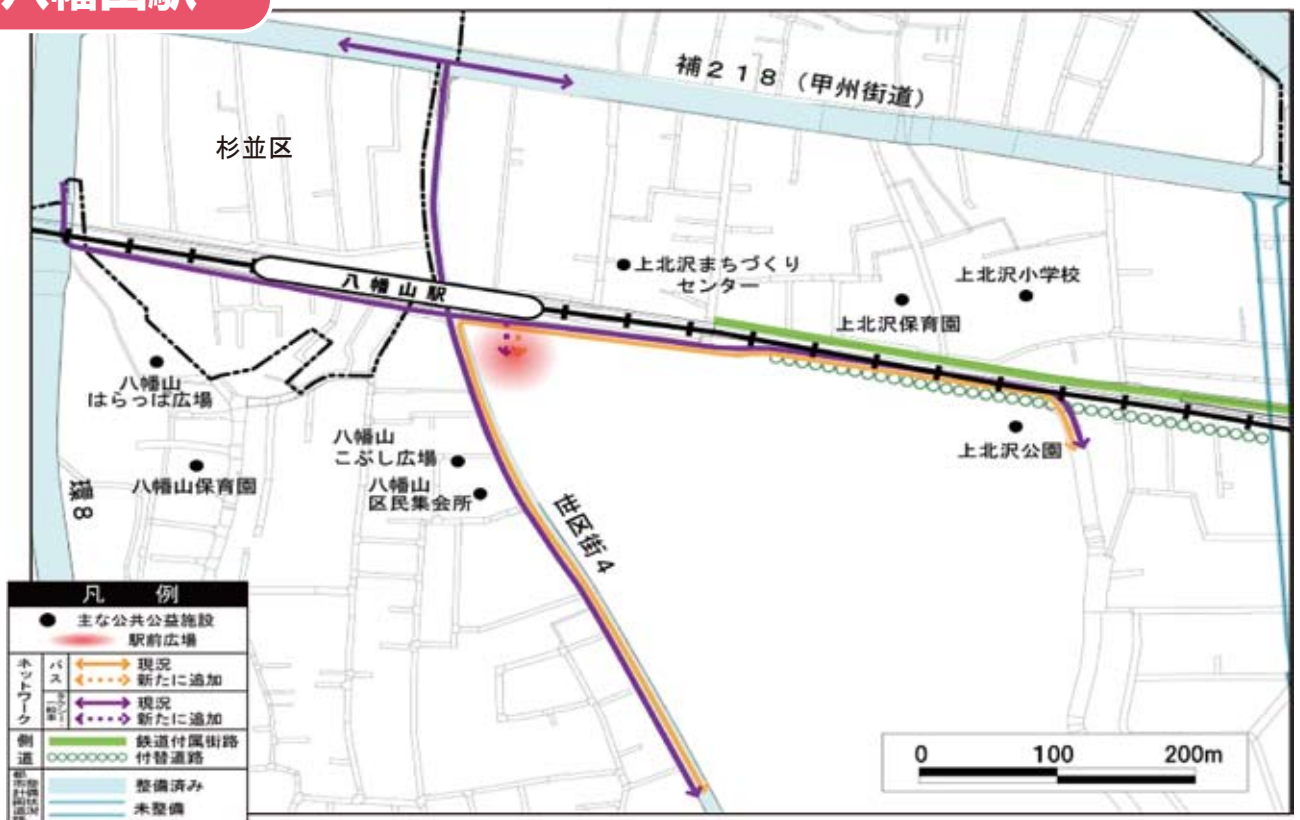


上北沢駅



○上北沢駅周辺地区は、一般車による送迎やタクシーの乗降ができるよう、駅前に車の寄付きができるスペースの整備が必要と考えています。

八幡山駅



○八幡山駅周辺地区は、駅の南側にバスやタクシーの乗降場を集約した駅前広場が必要と考えています。

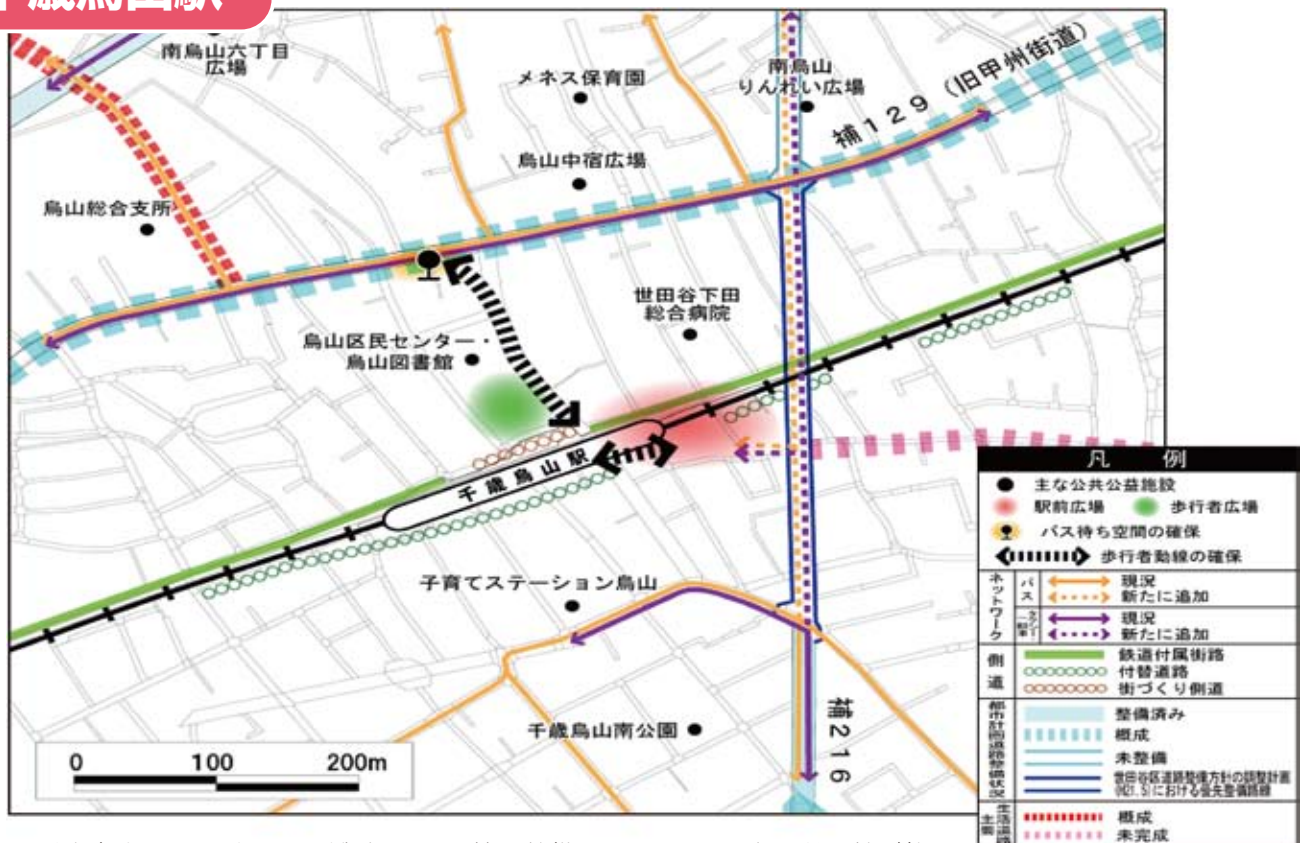
駅周辺の整備時期は都市計画道路などの進捗によって異なります。

芦花公園駅



○芦花公園駅周辺地区は、現在ある駅南側の駅前広場とあわせ、駅北側に、これと一体的な歩行者広場の整備が必要と考えています。

千歳烏山駅



○千歳烏山駅周辺地区は、補助216号線の整備にあわせ、これと駅前を結ぶ位置に、バスやタクシーの乗降場を備えた駅前広場の整備が必要と考えています。

②京王線沿線まちづくりQ&A



Q1 駅前広場基本構想の位置づけは？

A1

この構想は、「京王線沿線まちづくり基本方針」や、各駅の交通手段別の状況などを踏まえ、将来構想としての各駅の駅前広場やアクセス道路（接続する道路）についての区の考え方を示したものです。



Q2

駅前広場基本構想により駅前広場の位置は決定するのですか？

A2

この構想は、街づくり検討のため駅前広場についての区の考え方を示したものです。したがってこの構想によって位置が確定したものではありません。

Q3

駅前広場の持つ役割は何ですか？

A3

駅前広場には、鉄道からバスやタクシーへの乗換え等の「交通空間」と、買物客や待合せなど人々の交流や都市の景観形成等の「環境空間」、防災活動の拠点等としての役割があります。

また、まちの玄関口として、まちの顔となる施設でもあり、各地区の特性に応じた駅前広場づくりを今後皆さんと共に進めてまいります。

Q4

駅前広場の規模はどのくらい必要なのですか？

A4

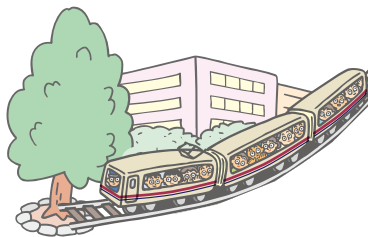
駅前広場の規模は、バスやタクシーなど各交通手段の交通処理に必要な交通空間面積と歩行空間や緑地等の環境空間面積の合計面積が基準となります。これを基に施設配置計画を行い、各地区の特性に応じた適正面積を設定します。

Q5

駅前広場計画に地域住民の参画機会はないのですか？

A5

現在、各駅周辺地区では、地元の方々の発意による街づくり協議会や準備会等が設立され、街づくり原案の区長への提案に向けた検討が進められています。区では、こうした街づくり協議会等からの提案やこの構想を基に、駅前広場等を含む駅周辺の街づくりを皆さんと共に進めてまいります。



Q6

駅前広場はいつごろ整備されるのですか？

A6

駅前広場の整備時期は、各駅周辺の鉄道や道路等の都市施設の整備・進捗の状況によって異なります。今後は、地区の皆さんと区と一緒に考えて駅前広場等を含む駅周辺の街づくり計画をつくり、それに基づき具体的な街づくりを進めてまいります。

③京王線沿線駅前広場基本構想の閲覧

京王線沿線駅前広場基本構想は次の場所で閲覧できます。

- 閲覧場所 区政情報センター、各総合支所区政情報コーナー、北沢総合支所街づくり課、烏山総合支所街づくり課、交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課窓口で閲覧できます。また、区のホームページでもご覧になれます。

